

高齢者の生きがい・就労／ライフデザイン等の状況（将来イメージへの参考）

【はじめに】

(1)本資料の趣旨

- 第2回以降の高齢者福祉医療戦略会議では、第1回にて提案・議論頂いた「10年後の高齢者の生活イメージ」の実現に向けた、現状とのギャップ（課題）の有無等について議論しています。
- 課題等として指摘頂く際には、もれなく挙げるということよりも、次の観点に立った整理が必要と考えます。

①実現可能性・現実性	生活イメージの将来像の実現において、現状とのギャップの解消が現実的に（規模的・量的に見て）可能か、どの程度までなら改善できそうか（ギャップではないと許容できるレベルはどの程度か）、等
②重要度・優先度	それがどの程度の深刻さ・重要性があるのかを考慮し、今後10年間で優先的に改善していく必要があるか

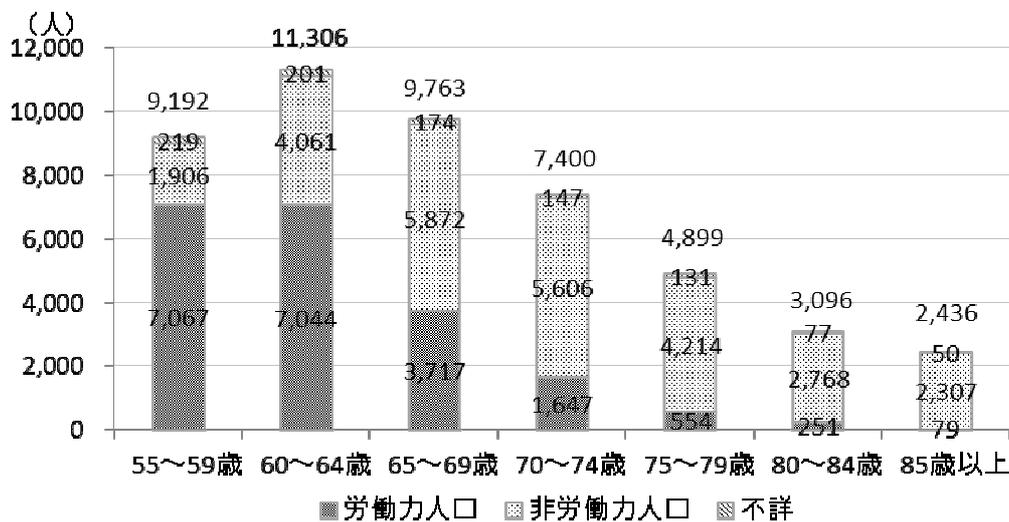
- 以上の観点に立って考えて頂くためには、規模感等のイメージをつかんで頂く必要があると考えており、参考値として、生きがいや就労等の実態を示す、主な関連データを整理してみました。

I 高齢者の生きがい・就労／ライフデザインについて

1. 働きたい人が無理なく働いている

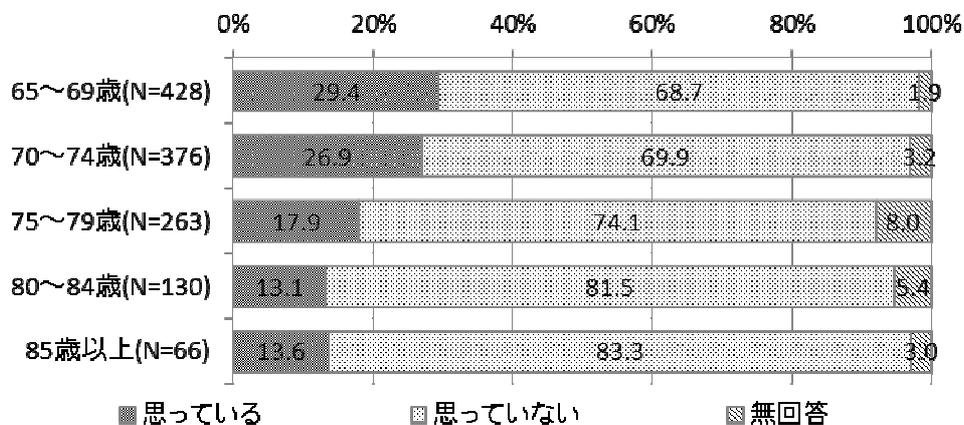
(1) 就労の状況

- 高齢者のうち働いている人は約2割（図表 1）と少数派で、働いていない人で働きたい人も少ない（図表 2）。
- 65 歳以上の求職者数は毎年度初めに一旦増加するが（前年度に退職のためか）、4～5 千人で横ばい（働きたい人が増えてはない）。求人数は求職者数を下回り 2～3 千人で低迷していたが、昨年度は増加傾向となったため有効求人倍率は改善傾向にある（図表 3）。
- 就労希望者は比較的若い高齢者ほど多い（図表 2）。前期高齢者は経済的理由で働く者が多いが、年齢が上がるに連れ、生きがいや健康のために働く者の割合が高い（図表 4）。
- 前期高齢者は経済的理由で働きたい人が多いにもかかわらず、シルバー人材センターの前期高齢者の会員数は減少。シルバー人材センターの仕事は、生きがいや健康のためには有効であるが、経済的理由で働くには不十分なようである（図表 5）。



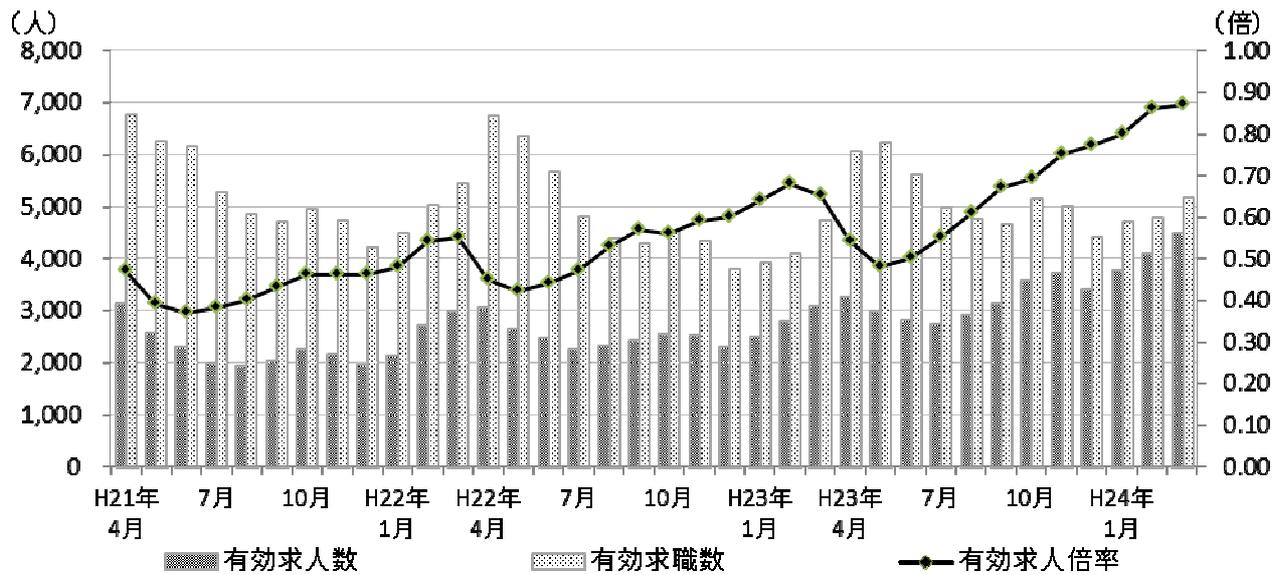
図表 1 労働力人口（小牧市）

出典：平成 22 年国勢調査産業等基本集計（総務省統計局）



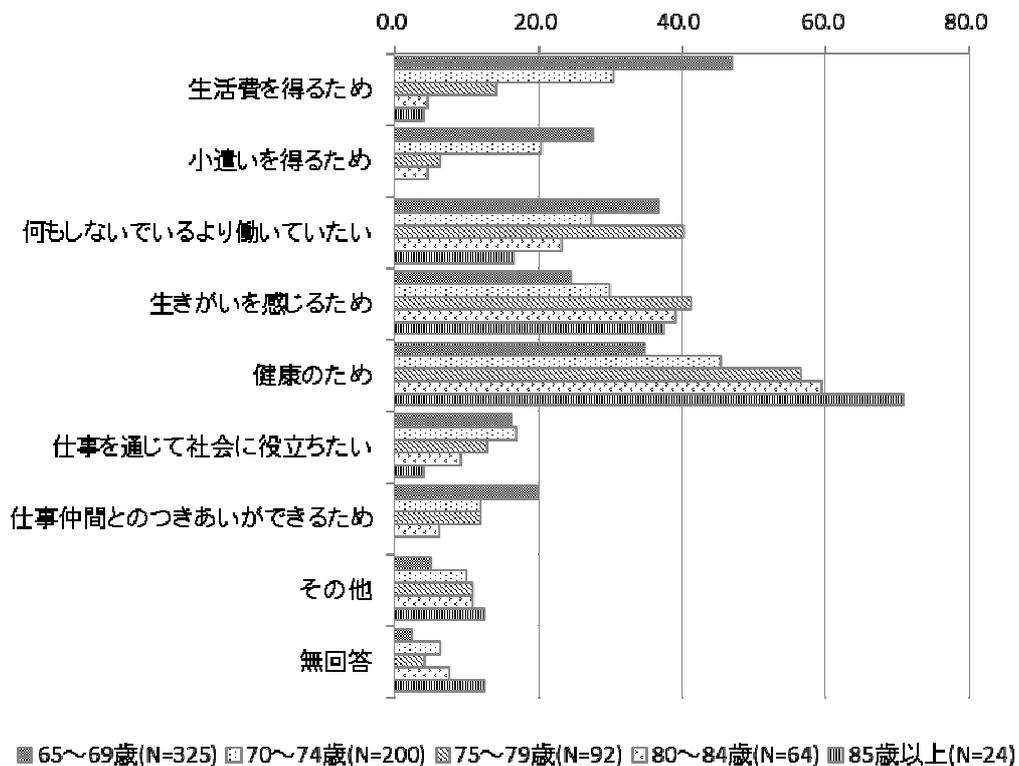
図表 2 （働いていない人の）就労意向（一般高齢者）

出典：小牧市高齢者保健福祉計画策定事業委託調査調査結果報告書（平成 23 年 3 月）



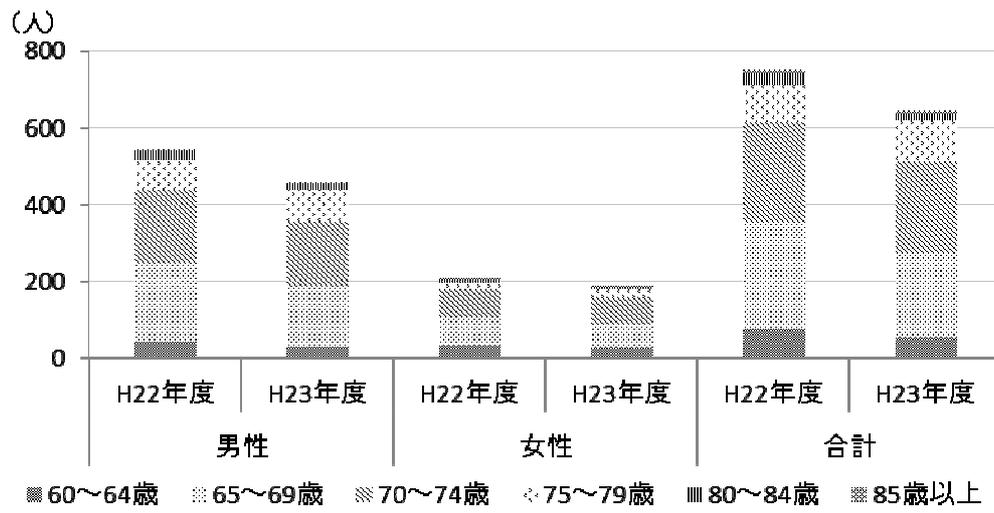
図表 3 65歳以上の有効求人・求職の現状

出典：最近の雇用情勢（愛知労働局）



図表 4 (働いている人の) 働いている理由 (一般高齢者) (複数回答)

出典：小牧市高齢者保健福祉計画策定事業委託調査調査結果報告書（平成 23 年 3 月）



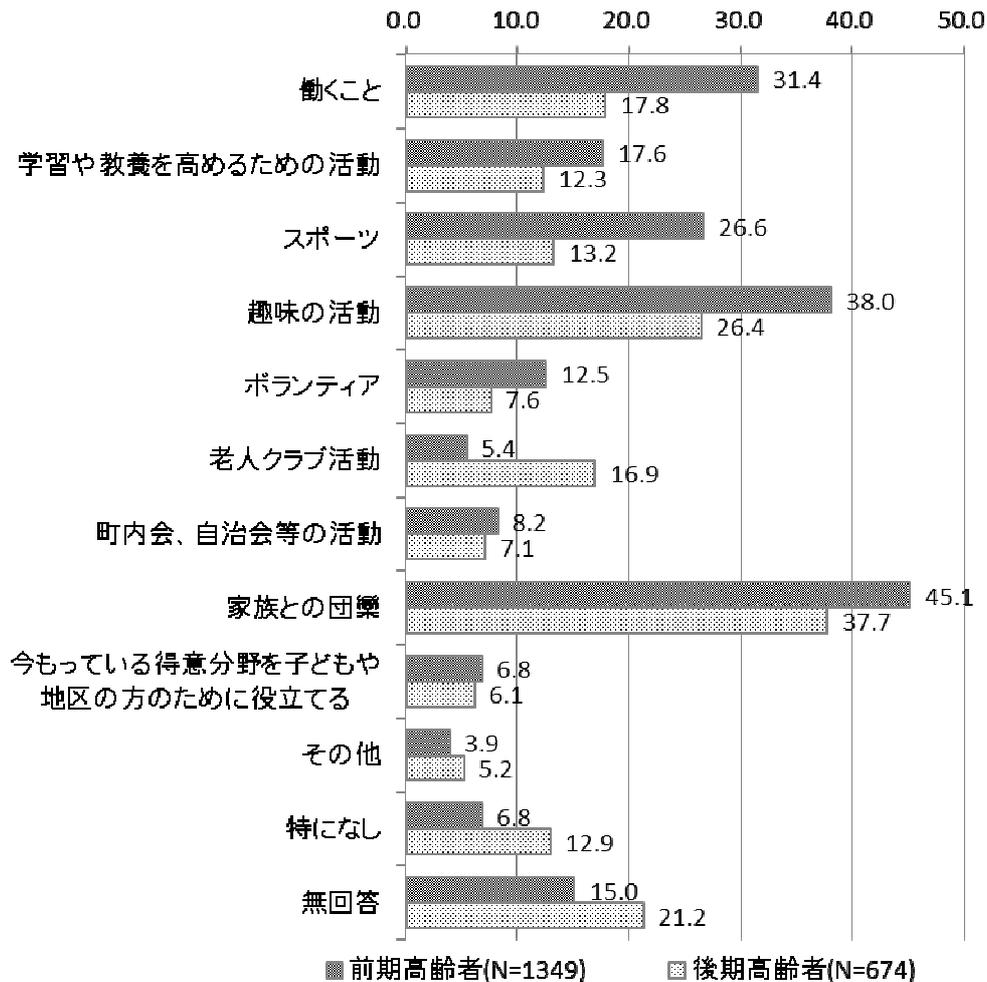
図表 5 シルバー人材センター会員の年齢別加入状況

出典：シルバー人材センター（小牧市）

2. 自分の趣味の活動を楽しんでいる

(1) 高齢者の生きがい【前提としての参考情報】

- 前期高齢者、後期高齢者ともに「家族との団欒」、「趣味の活動」、「働くこと」の順に生きがいを感じる高齢者の割合が高く、趣味以外の場面でも楽しみや生きがいを感じている高齢者が多い(図表 6)。
- 年齢が比較的若いうちは身体も比較的動くことから家の外で様々な活動により楽しみや生きがいを感じているが、後期高齢者はアクティブさがなくなっていく、全般的に楽しみや生きがいを感じる事が少なくなっているようである(図表 6)。

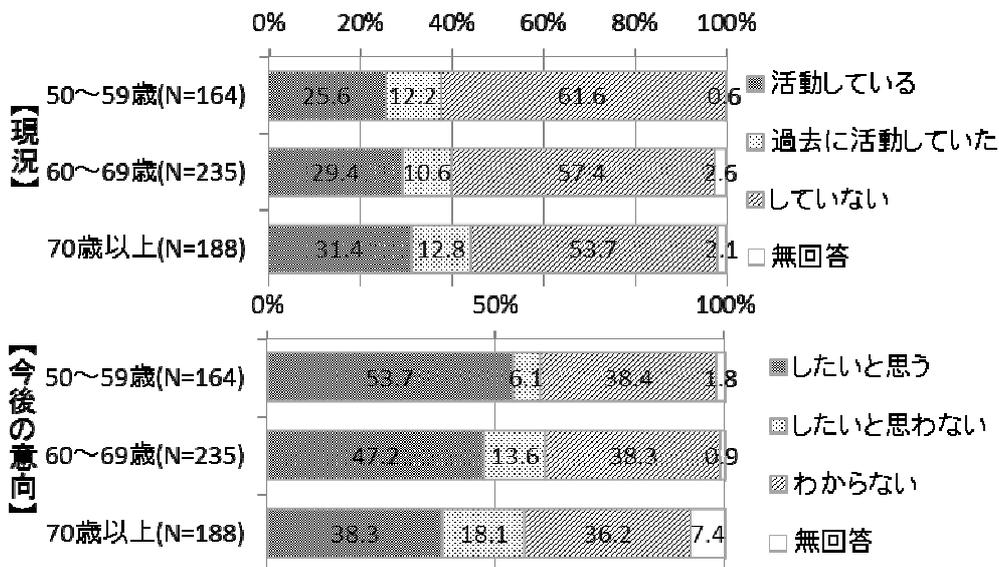


図表 6 楽しみや生きがいを感じる事(複数回答)

出典：小牧市高齢者保健福祉計画策定事業委託調査 調査結果報告書(平成 23 年 3 月)

(2) 趣味の場・機会の一つとして、生涯学習活動の取組状況と今後の意向

- 年齢が高くなるにつれて、生涯学習活動を行う人が増加する一方で、生涯学習活動をしたくないと思わない人も増加している。
 - 生涯学習活動を行っている高齢者は（若年者よりは多いものの）約3割に留まり、この割合は、年齢が高くなるにつれてわずかに増えている。（図表 7）。
 - 生涯学習活動を行っていない理由を「必要を感じない・興味がない」「特に理由はない」とする人が1/4～1/3を占め、この傾向は年齢が高くなるに連れて増える（図表 8）。
- 行いたいが行っていない人は主に「時間的に余裕がない」「参加するきっかけが得られない」ことが原因のようである。前者とする人は自身の時間繰りが付かない限り活動参加は見込めないが、後者とする人にはきっかけの提供があるとよい（図表 8）。



図表 7 生涯学習活動の取り組み状況と今後の意向

出典：生涯学習市民意識調査報告書（平成 24 年 3 月）

	必要を感じない・興味がない	時間的に余裕がない	健康上の理由がある	仲間がいない	費用がかかる	活動する機会や場がない	必要な情報が手に入らない	参加するきっかけが得られない	特に理由はない	その他	無回答
50～59歳(N=101)	10.9	57.4	4.0	10.9	9.9	13.9	15.8	30.7	23.8	5.9	1.0
60～69歳(N=135)	18.5	40.7	6.7	11.9	6.7	14.8	14.1	31.1	34.1	8.1	1.5
70歳以上(N=101)	18.8	19.8	26.7	8.9	5.0	16.8	7.9	22.8	36.6	7.9	3.0

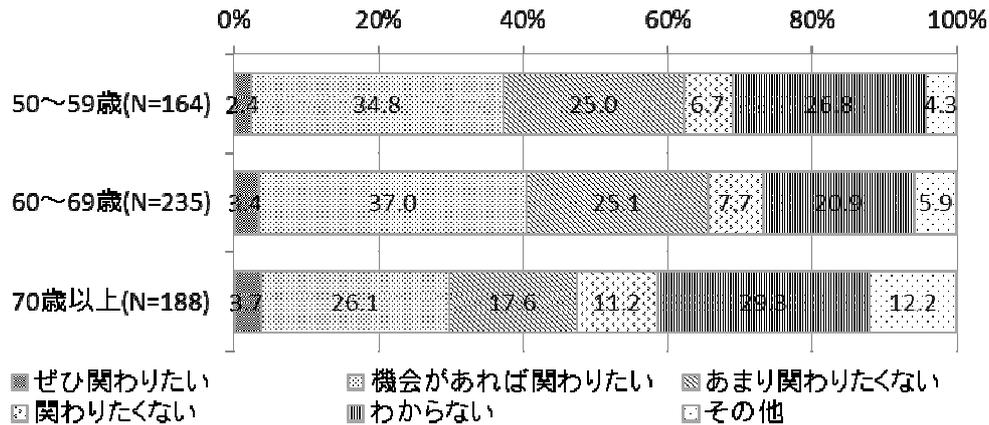
図表 8 生涯学習活動をしていない理由（複数回答）

出典：生涯学習市民意識調査報告書（平成 24 年 3 月）

3. 自分の知識や経験を活かして家庭や地域で役割を担い、誰かの役に立てる

(1) 社会活動への関わり方の意向

- 3～4割が、社会活動の「支援や指導」に「ぜひ」「機会があれば」関わりたいと答えている。社会活動への参加意欲を持ち続けている高齢者は、少数ではあるが存在している（図表 9）。
- 少数派である意欲ある高齢者の中でも、できると思うこと・やりたいと思うことが年齢によって変化するようであるが、どの年代も、「地域での奉仕活動の支援」が最も高く、次いで自分の「趣味のための学習に関する指導助言」が高い（図表 10）。



図表 9 社会活動の「支援や指導」に関わってみたいと思うか

出典：生涯学習市民意識調査報告書（平成 24 年 3 月）

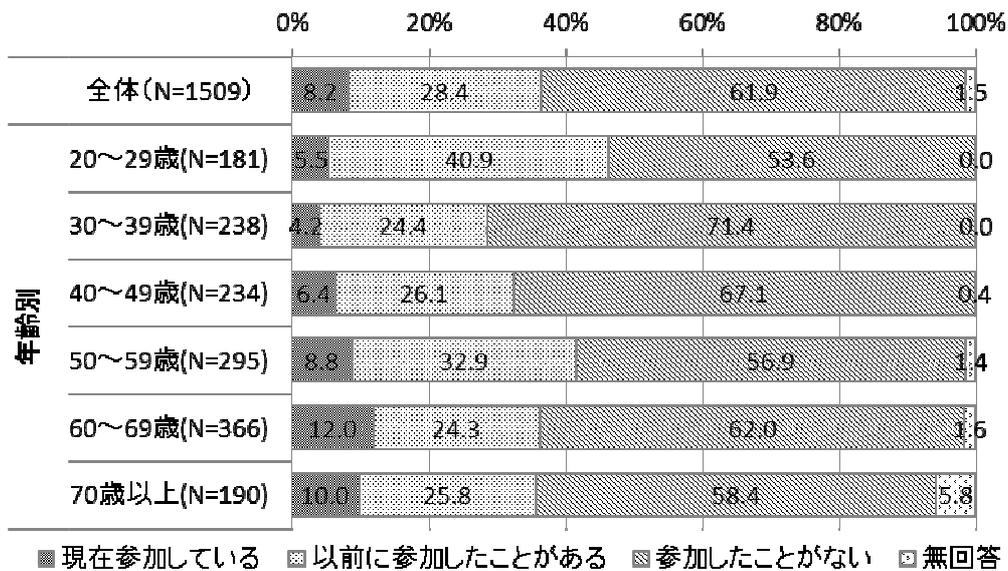
	N	趣味の 指導 助言	地域 での 奉仕 活動 の 支援	地域 の子 ども 会 の 諸 活動	仕事 に関 係 の ある 学習 に	子 育 て 育 児 を 支 援 す る 活 動	ポ ー ツ 指 導	地 域 で の 伝 統 行 事 や ス	校 放 課 後 を 利 用 し た 活 動	支 援 す る 活 動	地 域 の 内 容 の 説 明 活 動	連 地 域 の 歴 史 や 自 然 等 に 関	や 公 共 施 設 で の 講 座 の 講 師	わ か ら な い	そ の 他	(%) 無 回 答
50～59歳	61	29.5	45.9	8.2	8.2	19.7	8.2	14.8	8.2	11.5	19.7	8.2	1.6	1.6		
60～69歳	95	28.4	58.9	9.5	15.8	6.3	22.1	2.1	12.6	10.5	13.7	9.5	1.1	1.1		
70歳以上	56	25.0	62.5	8.9	10.7	3.6	7.1	0.0	10.7	12.5	10.7	10.7	1.8	1.8		

図表 10 社会活動の「支援や指導」に関わってみたい内容（複数回答）

出典：生涯学習市民意識調査報告書（平成 24 年 3 月）

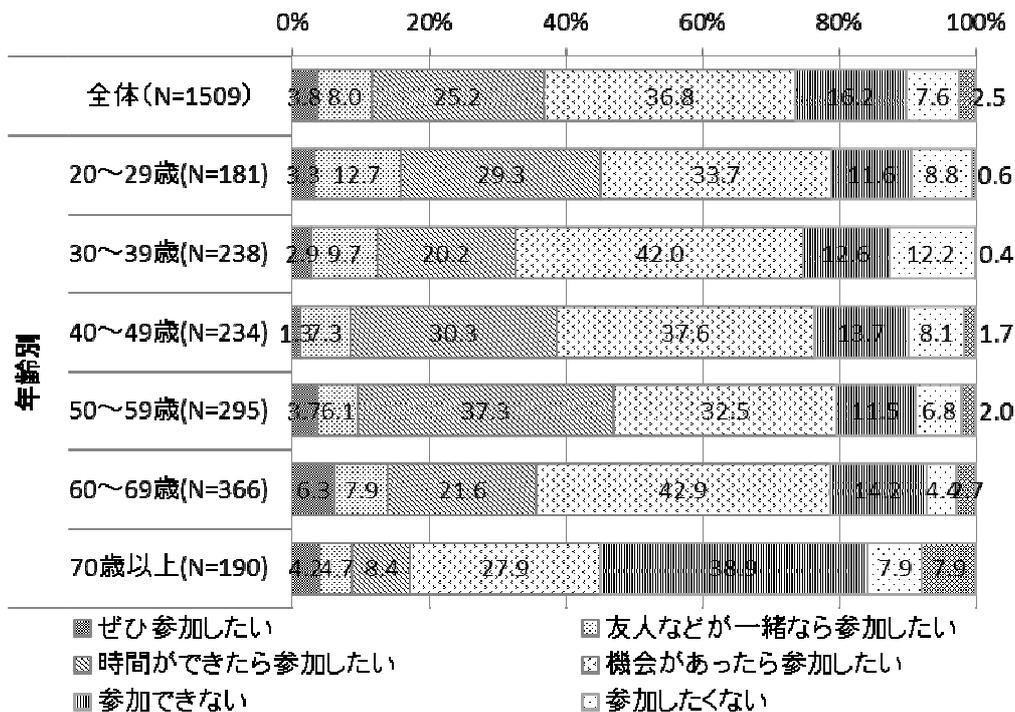
(2) ボランティア活動の状況と今後の意向

- どの年齢・地域でもボランティア活動に参加したことがない市民が多く(図表 11)、今後も「ぜひ参加したい」は1割に満たず消極的な参加意向は多いが、「機会があったら参加したい」が3~4割あり、機会提供をする必要があると考えられる(図表 12)。
- 少数派である参加経験者の活動内容は「環境保全・美化活動」「寄付・募金活動」など気軽に参加できるものが多く、自分の経験や知識を活かせるような活動への参加はごくわずかである(図表 13)。
- ボランティアセンターには8分野で119団体・4,446人が登録されており、高齢者が自分の経験や知識を活かすことのできる場はあると考えられる(図表 14)。



図表 11 ボランティア活動の参加状況(年齢別・地域別)

出典：地域福祉に関する市民意識調査結果報告書(平成23年3月)



図表 12 ボランティア活動の参加意向(年齢別・地域別)

出典：地域福祉に関する市民意識調査結果報告書(平成23年3月)

		Nは人、他は%															
		N	高齢者を支える活動	障がいのある人を支える活動	病院や福祉施設での活動	子育て支援活動	青少年健全育成活動	健康づくりに関する活動	安全活動	パトロール等の地域活動	スポーツ・文化・レクリエーション活動	環境保全・美化活動	寄付・募金活動	災害時の救援活動	国際交流活動	その他	無回答
年齢別	20～29歳	84	9.5	8.3	20.2	7.1	2.4	1.2	3.6	19.0	34.5	36.9	3.6	6.0	7.1	1.2	
	30～39歳	68	10.3	17.6	26.5	10.3	1.5	-	11.8	19.1	27.9	16.2	2.9	4.4	4.4	-	
	40～49歳	76	7.9	10.5	10.5	9.2	9.2	2.6	31.6	31.6	38.2	15.8	2.6	5.3	6.6	-	
	50～59歳	123	7.3	14.6	4.1	13.0	14.6	6.5	23.6	22.0	42.3	20.3	4.9	3.3	5.7	-	
	60～69歳	133	12.0	8.3	6.8	6.0	8.3	12.8	33.8	25.6	39.8	23.3	3.8	5.3	5.3	1.5	
	70歳以上	68	20.6	16.2	4.4	-	5.9	14.7	19.1	22.1	26.5	25.0	8.8	5.9	2.9	2.9	
地区別	小牧南部	87	10.3	6.9	6.9	2.3	6.9	8.0	20.7	34.5	43.7	32.2	5.7	3.4	4.6	1.1	
	小牧中部	113	15.0	16.8	14.2	9.7	5.3	6.2	16.8	22.1	37.2	16.8	2.7	6.2	5.3	0.9	
	小牧西部	75	6.7	12.0	8.0	8.0	10.7	4.0	25.3	18.7	37.3	20.0	4.0	-	6.7	1.3	
	味岡	82	7.3	11.0	13.4	11.0	7.3	4.9	20.7	24.4	35.4	15.9	3.7	7.3	4.9	-	
	篠岡	92	9.8	12.0	12.0	10.9	8.7	7.6	27.2	20.7	37.0	20.7	6.5	5.4	4.3	2.2	
	北里	95	13.7	12.6	10.5	6.3	8.4	10.5	23.2	20.0	28.4	33.7	4.2	6.3	7.4	-	

図表 13 ボランティア活動の内容(年齢別・地域別)(複数回答)

出典：地域福祉に関する市民意識調査結果報告書(平成23年3月)

活動内容	高齢者	障がい者	保健・健康づくり	防犯・防災	芸能・レクリ	文化・教育・子ども	環境・まちづくり	個人ボラ	合計
登録グループ数(団体)	11	13	13	5	31	33	13	—	119
登録人数(人)	297	299	273	166	516	1,650	961	284	4,446

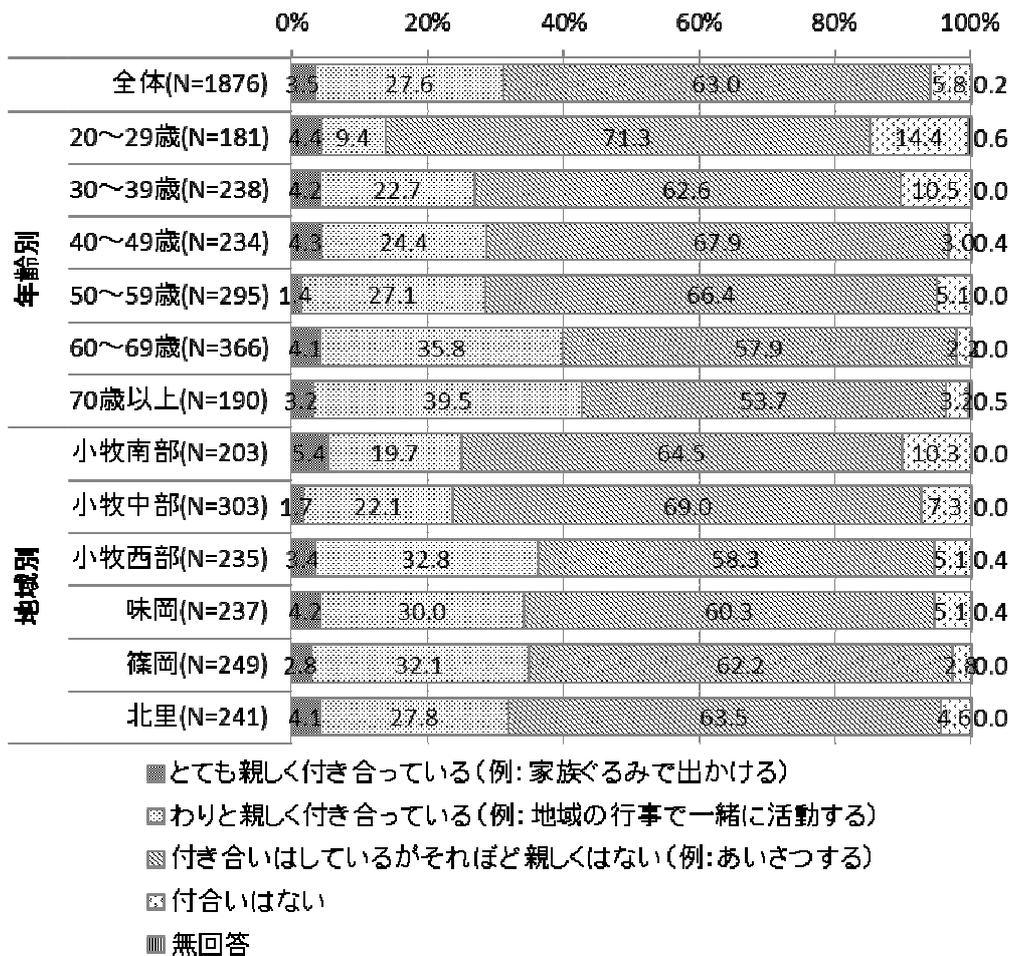
図表 14 小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター 登録状況

出典：小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター

4. 家族・近隣とのコミュニケーションが十分に取れている

(1) 近所付き合いの状況

- 近所と「とても親しく付き合っている」、「わりと親しく付き合っている」割合は3割程度にとどまっており、近所でちょっとした助け合いができるほどのコミュニケーションが取れているとは言い難い(図表 15)。
- 年齢・地域差があり、60代以上は比較的親しく付き合うようになる人が増え、また小牧南部・中部は他の4地区に比べ付き合いが少なく、コミュニケーションが希薄であると考えられる(図表 15)。

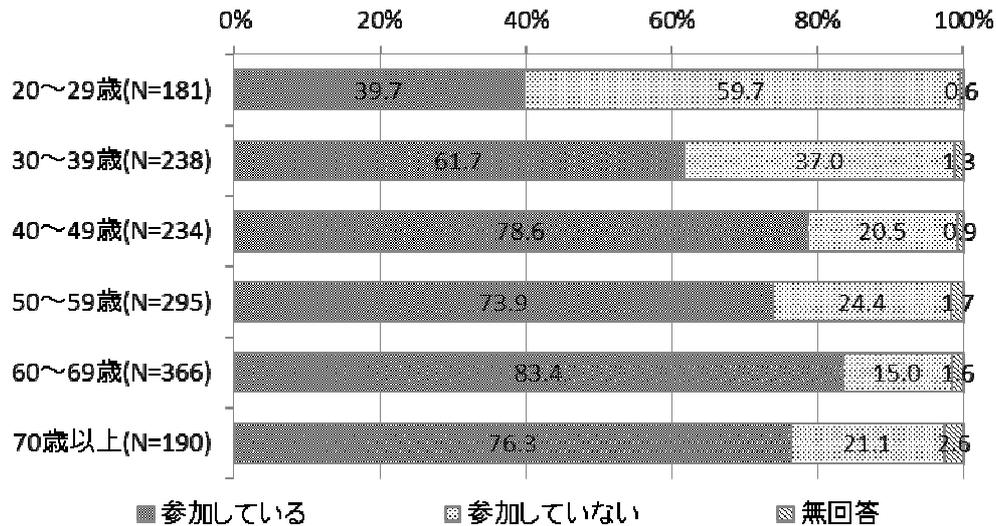


図表 15 近所付き合い(年齢別・地域別)

出典: 地域福祉に関する市民意識調査結果報告書(平成23年3月)

(2) 付き合いの機会・場の参考としての、地域活動への参加状況

- 20代を除き全般的に地域活動や行事への参加率は高く（図表 16）、参加内容によって主たる年齢層が異なるものもあるが、「自治会（町内会）の行事」は年齢にかかわらず参加率が高い（図表 17）。
- 前頁の結果と合わせると、参加率の高さが近隣との十分なコミュニケーションや助け合いまでに繋がっておらず、各自が三々五々行事に集まってくる形態が主となっているようである（図表 15）。



図表 16 地域活動や行事への参加状況（年齢別）

出典：地域福祉に関する市民意識調査結果報告書（平成 23 年 3 月）

区分	Nは人、他は%					
	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
N	181	238	234	295	366	190
自治会(町内会)の行事	25.4	44.5	59.8	64.7	72.1	56.8
子ども会の行事	5.0	22.3	25.6	5.4	3.6	3.2
PTA活動	0.6	13.4	28.2	2.7	1.1	-
地域3あい事業	1.1	5.9	14.5	7.5	14.5	14.7
婦人会の行事	0.6	-	0.9	2.0	4.6	4.2
老人会の行事	-	-	1.3	0.7	3.8	25.3
ふれあいサロン	-	0.4	-	1.0	2.5	1.1
スポーツ活動	5.5	4.2	4.3	4.4	5.5	8.9
体操教室	0.6	1.3	0.4	2.7	5.2	7.9
神社や寺の行事	7.7	11.8	20.5	23.7	24.6	21.6
地区のボランティア	4.4	2.9	4.7	7.5	9.6	6.8
その他	3.9	3.8	3.0	3.4	2.2	3.2
無回答	0.6	1.3	0.9	1.7	1.6	2.6

図表 17 参加している地域活動や行事（年齢別）（複数回答）

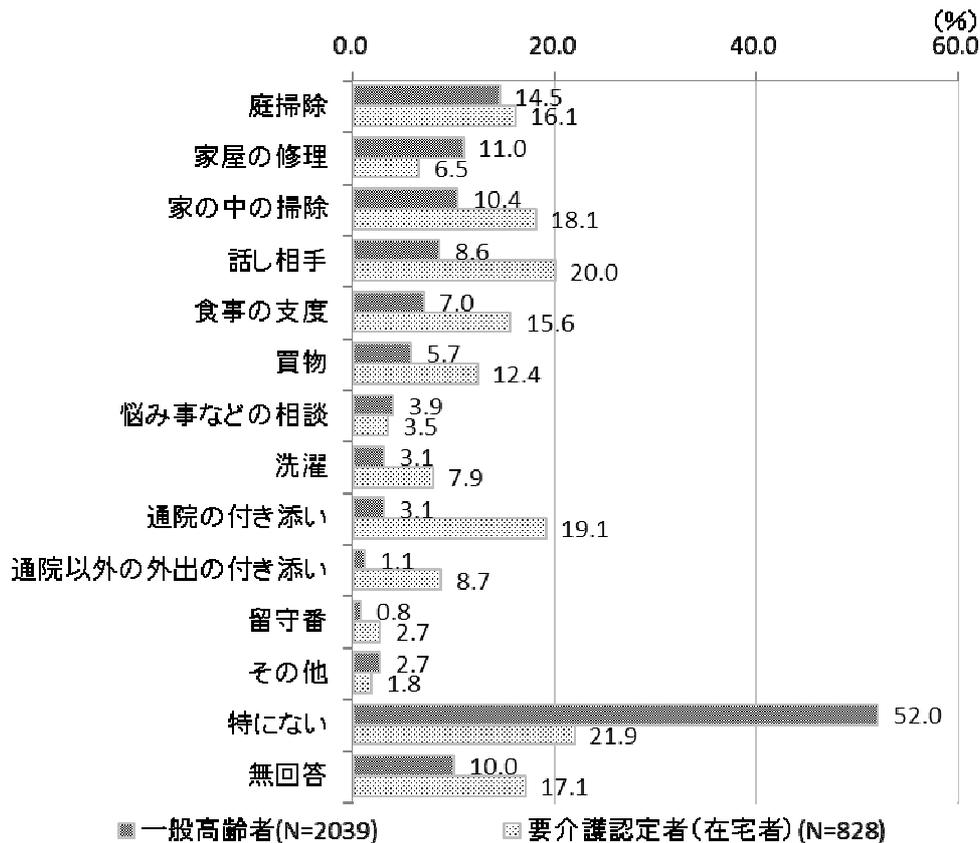
出典：地域福祉に関する市民意識調査結果報告書（平成 23 年 3 月）

5. 支えあいについて

(1) 手助けしてほしいことと手助けできること

※公的サポートの提供・利用状況は前回資料参照

- 手助けできることは多いが（図表 19）、実際に高齢者の生活を支えるボランティアを行っている人はごく僅か（図表 11・図表 13）。
- 手助けしたい・されたい共に「特にない」が最も多いが（公的サービスがあるためか）、要介護状態になると殆どの項目で手助けしてほしい人が増える（図表 18）。
- 掃除・外出付き添い等手助けしたいこととされたいことはある程度一致していることから、両者をうまくつなぐことが重要である（図表 19）。



図表 18 ボランティアに手助けしてほしいこと（複数回答）

出典：小牧市高齢者保健福祉計画策定事業委託調査調査結果報告書（平成 23 年 3 月）

区分	(%)				
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
有効回答数(件)	759	590	368	209	97
庭掃除	28.2	22.9	23.4	16.7	9.3
家の中の掃除などの家事	15.3	13.9	12.0	7.7	7.2
外出時の付き添い	16.2	11.2	7.6	2.4	1.0
家屋の修繕、リフォーム	7.5	4.9	3.8	1.4	1.0
悩み事の相談	11.1	9.3	8.4	7.2	4.1
福祉施設などで介護	2.9	2.2	0.8	-	1.0
独居老人の安否確認、話し相手、昼食弁当の配達	11.7	11.7	6.8	4.3	3.1
芸能、趣味指導など、講座・教室の講師	4.1	3.1	5.2	4.3	2.1
地域で行われる行事などの手伝い	26.4	17.8	14.9	10.0	3.1
特にない	25.8	32.9	36.4	49.8	58.8
その他	1.7	2.2	2.7	1.4	3.1
無回答	7.0	11.4	14.9	14.4	20.6

図表 19 ボランティアとして手助けできること（一般高齢者）（複数回答）

出典：小牧市高齢者保健福祉計画策定事業委託調査調査結果報告書（平成 23 年 3 月）

Ⅱ 高齢者の経済面について

1. 生活を維持することのできる蓄え・収入がある

(1) 収入の状況

- 昨年度、高齢者の4.5%は無収入（本資料では「公的年金収入及び給与収入がなく、かつこれら以外の課税所得（以下、「所得」と略。）がない状況」をいう。以下、同様。）である（図表 20）。
- 殆どの高齢者の収入源は「公的年金収入」で、「給与収入」のある者も一定程度いる。これらに次ぐ収入源として、ごく一部の高齢者だが「不動産所得」もある（図表 20）。
- 性・年齢により状況は大きく異なる。男性は「給与収入」の割合が高く、60～64歳まで「給与収入」の割合が最も高いが、女性は公的年金受給開始前（55～59歳）までは無収入の人が3割程度いる他、男性に比べ無収入である人の割合がいずれの年齢でも多い（図表 20）。

	総人口	無収入の人 (※3)	収入がある人 (※4)	公的年金収入	不動産所得	利子所得	配当所得	給与収入合計	営業所得	農業所得	その他の事業所得	雑一般所得	総合譲渡一時所得
合計	51,307	4,443	46,864	36,013	4,461	7	1,162	21,713	2,152	648	0	2,804	214
	100.00%	8.66%	91.34%	70.19%	8.69%	0.01%	2.27%	42.32%	4.20%	1.26%	0.00%	5.46%	0.42%
高齢者合計	31,375	1,411	29,964	29,240	3,127	4	840	8,010	1,139	508	0	2,028	109
	100.00%	4.50%	95.50%	93.20%	9.97%	0.01%	2.68%	25.53%	3.63%	1.62%	0.00%	6.46%	0.35%
前期高齢者	18,553	797	17,756	17,122	1,514	3	470	6,622	910	210	0	1,541	66
	100.00%	4.30%	95.70%	92.29%	8.16%	0.02%	2.53%	35.69%	4.90%	1.13%	0.00%	8.31%	0.36%
後期高齢者	12,822	614	12,208	12,118	1,613	1	370	1,388	229	298	0	487	43
	100.00%	4.79%	95.21%	94.51%	12.58%	0.01%	2.89%	10.83%	1.79%	2.32%	0.00%	3.80%	0.34%
男性	24,530	1,152	23,378	17,284	2,944	5	825	12,746	1,712	549	0	1,842	169
	100.00%	4.70%	95.30%	70.46%	12.00%	0.02%	3.36%	51.96%	6.98%	2.24%	0.00%	7.51%	0.69%
55歳～59歳	4,262	367	3,895	16	386	0	75	3,626	328	54	0	69	41
	100.00%	8.61%	91.39%	0.38%	9.06%	0.00%	1.76%	85.08%	7.70%	1.27%	0.00%	1.62%	0.96%
60歳～64歳	5,555	350	5,205	3,347	574	1	174	4,165	455	71	0	440	42
	100.00%	6.30%	93.70%	60.25%	10.33%	0.02%	3.13%	74.98%	8.19%	1.28%	0.00%	7.92%	0.76%
65歳～69歳	5,002	176	4,826	4,574	564	2	192	2,646	438	96	0	595	33
	100.00%	3.52%	96.48%	91.44%	11.28%	0.04%	3.84%	52.90%	8.76%	1.92%	0.00%	11.90%	0.66%
70歳～74歳	4,259	117	4,142	4,072	489	1	152	1,444	307	92	0	424	19
	100.00%	2.75%	97.25%	95.61%	11.48%	0.02%	3.57%	33.90%	7.21%	2.16%	0.00%	9.96%	0.45%
75歳～79歳	2,942	74	2,868	2,846	421	1	109	597	117	110	0	214	20
	100.00%	2.52%	97.48%	96.74%	14.31%	0.03%	3.70%	20.29%	3.98%	3.74%	0.00%	7.27%	0.68%
80歳～84歳	1,547	49	1,498	1,491	268	0	79	187	39	66	0	67	10
	100.00%	3.17%	96.83%	96.38%	17.32%	0.00%	5.11%	12.09%	2.52%	4.27%	0.00%	4.33%	0.65%
85歳～	957	19	938	934	241	0	44	78	28	60	0	33	4
	100.00%	1.99%	98.01%	97.60%	25.18%	0.00%	4.60%	8.15%	2.93%	6.27%	0.00%	3.45%	0.42%
女性	26,777	3,291	23,486	18,728	1,517	2	337	8,967	440	99	0	961	45
	100.00%	12.29%	87.71%	69.94%	5.67%	0.01%	1.26%	33.49%	1.64%	0.37%	0.00%	3.59%	0.17%
55歳～59歳	4,273	1,311	2,962	5	139	1	18	2,838	102	4	0	48	8
	100.00%	30.68%	69.32%	0.12%	3.25%	0.02%	0.42%	66.42%	2.39%	0.09%	0.00%	1.12%	0.19%
60歳～64歳	5,830	1,003	4,827	3,396	234	1	55	3,069	128	11	0	218	14
	100.00%	17.20%	82.80%	58.25%	4.01%	0.02%	0.94%	52.64%	2.20%	0.19%	0.00%	3.74%	0.24%
65歳～69歳	4,985	342	4,643	4,376	216	0	56	1,688	110	11	0	281	11
	100.00%	6.86%	93.14%	87.78%	4.33%	0.00%	1.12%	33.86%	2.21%	0.22%	0.00%	5.64%	0.22%
70歳～74歳	4,307	162	4,145	4,100	245	0	70	844	55	11	0	241	3
	100.00%	3.76%	96.24%	95.19%	5.69%	0.00%	1.63%	19.60%	1.28%	0.26%	0.00%	5.60%	0.07%
75歳～79歳	3,116	140	2,976	2,948	247	0	55	332	23	23	0	124	5
	100.00%	4.49%	95.51%	94.61%	7.93%	0.00%	1.77%	10.65%	0.74%	0.74%	0.00%	3.98%	0.16%
80歳～84歳	2,082	125	1,957	1,944	204	0	41	117	14	23	0	33	1
	100.00%	6.00%	94.00%	93.37%	9.80%	0.00%	1.97%	5.62%	0.67%	1.10%	0.00%	1.59%	0.05%
85歳～	2,178	207	1,971	1,955	232	0	42	77	8	16	0	16	3
	100.00%	9.50%	90.50%	89.76%	10.65%	0.00%	1.93%	3.54%	0.37%	0.73%	0.00%	0.73%	0.14%

図表 20 高齢者が収入もしくは所得を得ている項目とその人数及び割合

出典：小牧市

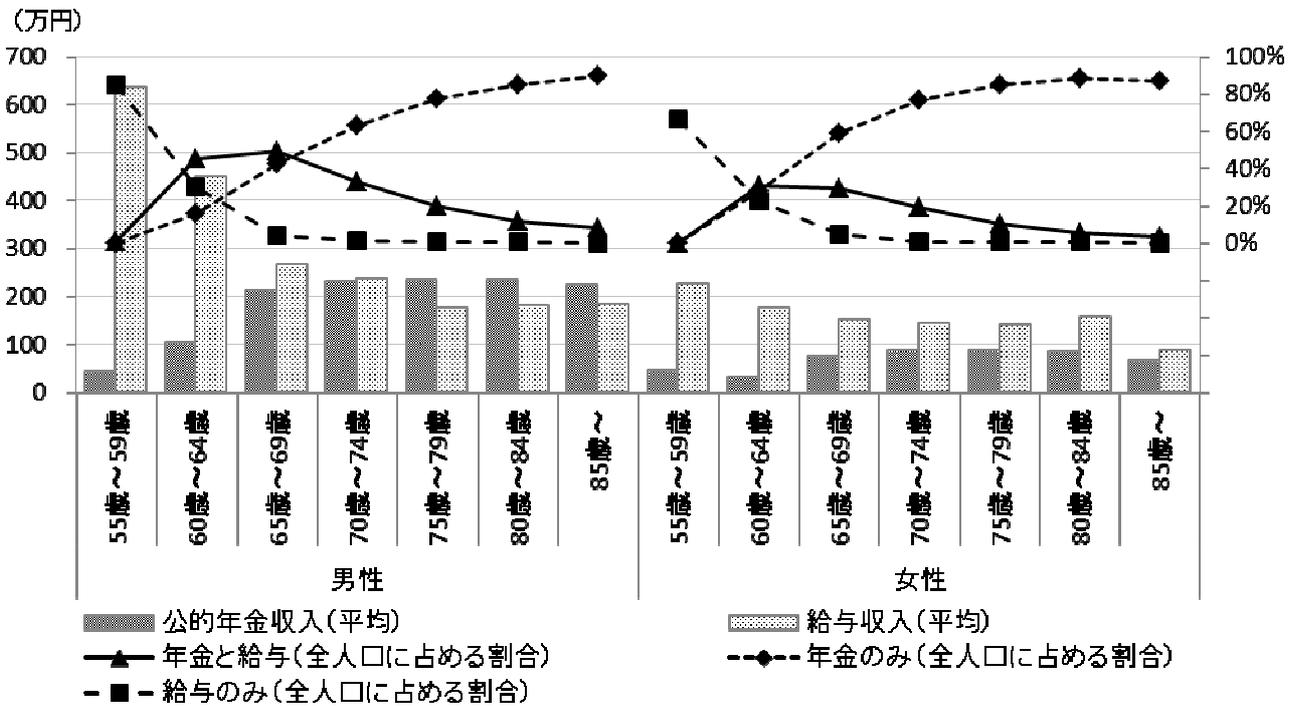
※1 平成 24 年度市・県民税当初課税の資料に基づく。

※2 上段は人数、下段は総人口に占める割合。

※3 無収入の人：本資料では公的年金収入及び給与収入がなく、かつこれら以外の課税所得のいずれもない人。

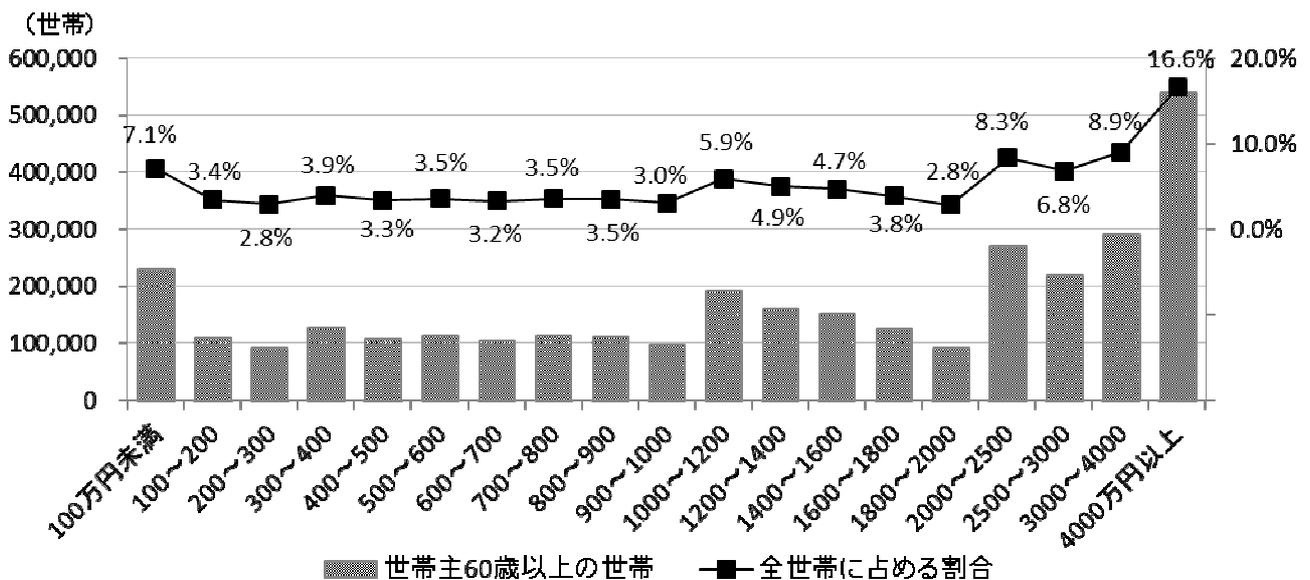
※4 収入がある人：本資料では公的年金収入、給与収入、もしくはこれら以外の課税所得のいずれかがある人。

- 年齢が高くなるに連れ、給与を収入源とする者が減り、年金のみを収入源とする者の割合が高まる。男性は70～74歳で、女性は65～69歳で「年金のみ」とする者の割合が他の収入源よりも高くなる(図表 21)。
- 全国で、世帯主60歳以上の世帯の約3割は貯蓄が1千万円に満たない(図表 22)。また、無職の高齢者世帯は世帯主が有業である高齢者世帯に比べ貯蓄額が少ない(図表 23)。無職世帯は年金と貯蓄等で生活を送る中、有業世帯よりも苦しい状況にある。



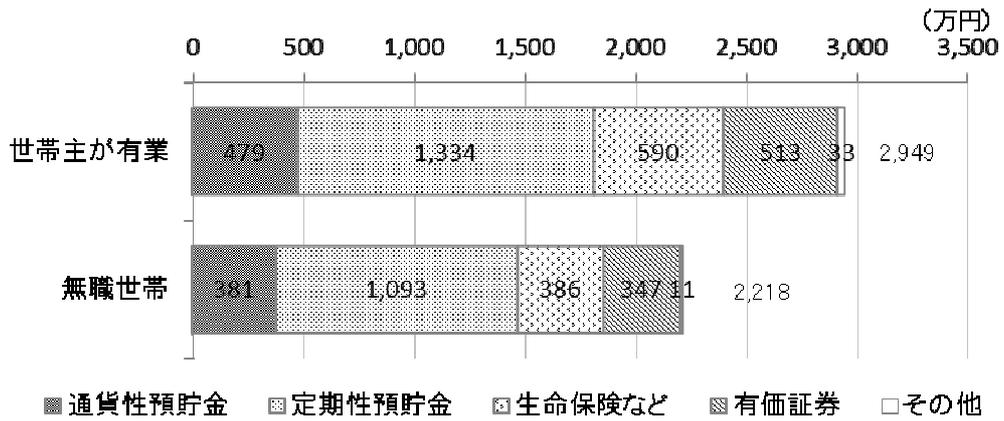
図表 21 高齢者の収入状況

出典：小牧市



図表 22 世帯主60歳以上の世帯における貯蓄現在高(全国)

出典：家計調査年報(貯蓄・負債編)(平成23年)



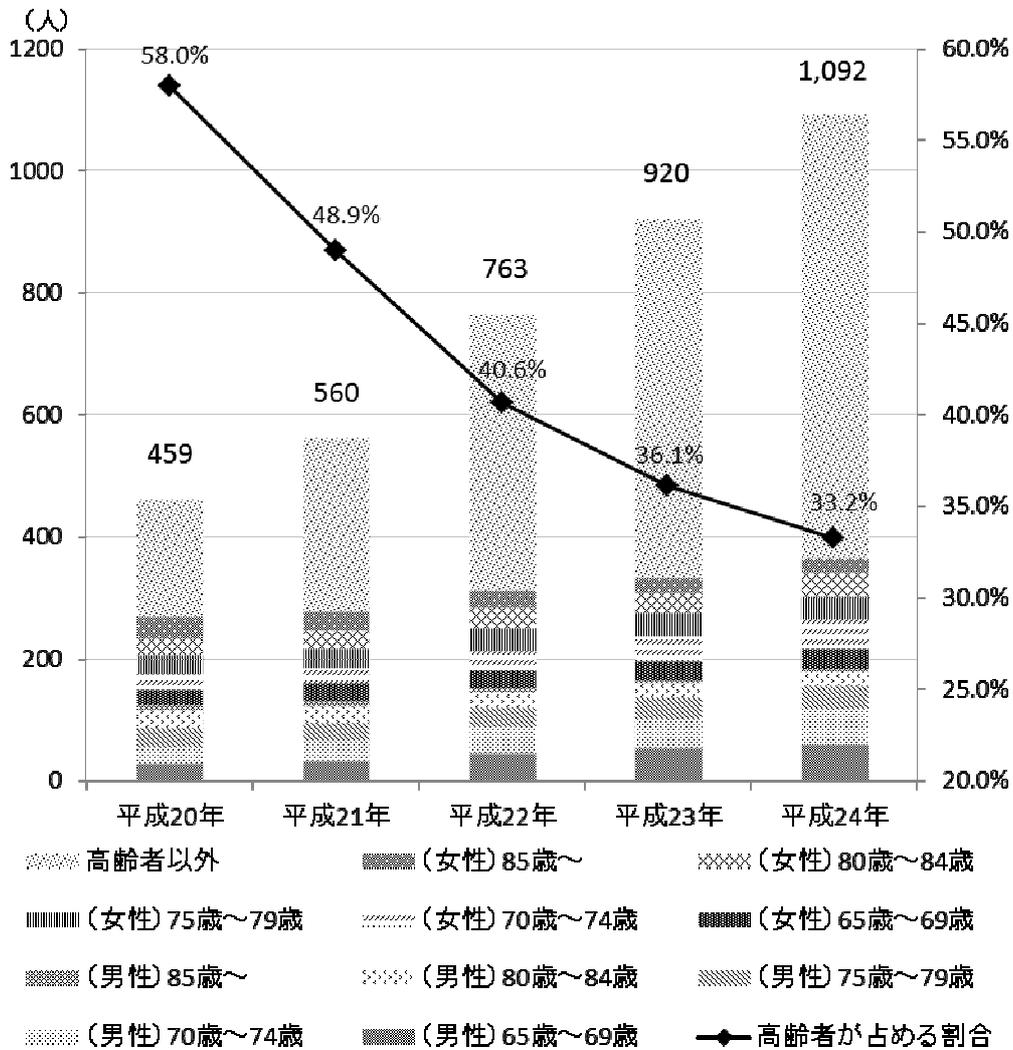
図表 23 高齢者世帯の貯蓄内容内訳 (全国)

出典：家計調査年報(貯蓄・負債編)(平成23年)

※ 高齢者世帯：男性65歳以上、女性60歳以上の者のみから成る世帯で少なくとも一人は65歳以上

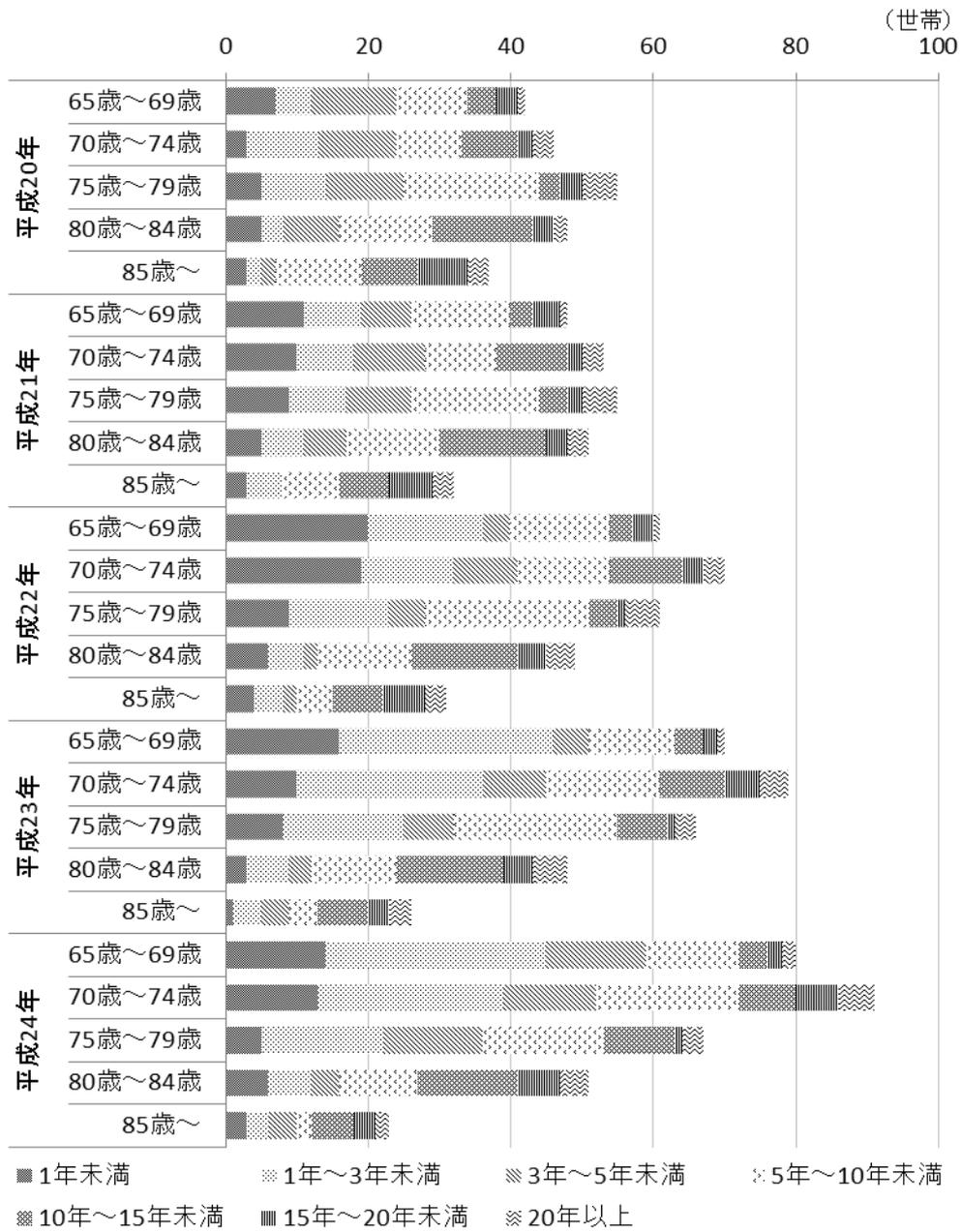
(2) 高齢者の生活保護の状況

- 生活保護受給者は年々増加しているものの、その増加は若年層が中心であるため、高齢者が占める割合は減少している（図表 24）。
- 高齢者の生活保護受給年数は1年～3年未満が多い。長年受給している訳ではなく、退職を機に収入がなくなり、生活保護の受給を開始していることがうかがえる（図表 25）。



図表 24 生活保護受給者数

出典：小牧市調べ



図表 25 生活保護受給年数

出典：小牧市調べ